

留 学 報 告 書



留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	フロリダ州立大学・ディズニーワールド提携インターンシップ
留学期間	2019年8月～2020年1月
留学を開始した時の学年	2年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	約50万円
保険料	約8万円
宿舍費（1か月あたり）	約5万円
食費（1か月あたり）	約4万円
渡航旅費	約31万円

滞在形態関連

1) 種類
寮
2) 部屋の形態
相部屋（自分含め6人）
3) 設備
シャワー，お風呂（浴槽），トイレ，エアコン，キッチン，ランドリー，インターネット，宅配ボックス。
4) 住居を探した方法
留学先大学の指定

現地情報	
1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？	はい。
2) 現地で病院にかかったことはありますか？	いいえ。
3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？	はい。
4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？	はい。おたふく風邪
5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？	留学先の友人，日本にいる友人や家族
6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？	寮のセキュリティーは万全でしたし、ほとんどの時間を過ごしていたディズニーパーク内のセキュリティーもしっかりしていたので、近くで犯罪などが起きることもなく留学を終えることができました。
7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？	寮内、パーク内に無料の Wi-fi はありましたが、特に寮のものはなかなか繋がりにくく不便だったので、出発前に SIM カードを購入し、使い放題のプランに加入しておいて良かったなと思います。
8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？	インターンシップ開始前は日本で使っていたカードを使っていましたが、働き始めて給料をもらってからは、ディズニーから支給されたカードから全て生活費を出していました。
9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？	寮から出てるバスで大きいスーパーに行くこともできましたし、各寮の近くにも買い物できる場所があったので特に不便はなかったです。日本から持っていったパスタソースはアメリカにはない味で特に美味しく感じました。個人的にはサラダのドレッシングを持って行くことをおすすめしたいです。
10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？	クレジットカード

11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

渡航について
1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？
バスや電車
2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？
はい。大学でディズニーでの生活の送り方についてのオリエンテーションがありました。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）
履修した授業科目名
Intercultural Communication
授業内容や試験、授業を受けた感想について
インターンシップ中に直面するであろう文化の違いや、それによるストレスなどの対処方法などを学びました。レポートの提出もありました。

履修した授業科目名
Applied Intercultural Communication
授業内容や試験、授業を受けた感想について
インターンシップ開始後に1ヶ月に1回、大学の先生が寮に来てくださり、文化の違いなどについての講義をしてくださり、その後その内容についてのレポートを提出していました。

履修した授業科目名
Intercultural Communication Practicum
授業内容や試験、授業を受けた感想について
ディズニーワールドでのインターンシップのことを指します。

履修した授業科目名
Corporate Social Responsibility
授業内容や試験、授業を受けた感想について
レポートの内容がオンラインで提示されるので、インターンシップを通して感じたことを基にレポートを作成し提出していました。

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>英語が好きで、もっと英語力を伸ばしたいという思いと、長期留学は大学生のうちしかできず、また就職の心配もあったので、大学2年生のうち留学に行きたいと思って、留学に行くことを決意しました。このプログラムを選んだ理由は、海外の大学で勉強するというのはどこの大学でもできるけれど、働くという経験がある人はなかなかいないと考え、しかも海外のディズニーで働くという機会を得られるのは、この国際日本学部でしかできないと考えたからです。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>留学に行く行かないに関わらず、英語の必修のクラス分けに TOEFL のスコアが必要だったので、TOEFL の対策は1年生の早い段階から進めていた記憶があります。留学が決まってからの留学に必要な日用品や服などの準備は、最低でも1ヶ月以上前から始めた方がいいと思いました。英語の勉強などは必修の授業やレポートなどが忙しく、留学のための英語の勉強は全くしなかったです。私のroleの1つがMerchandiceだったので、勤務中にゲストからの質問にキャラクターの名前が出てきたりしていたので、英語の勉強も兼ねてDisneyの映画を見るのをおすすめします。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>上記でDisneyの映画を見る事をおすすめしますと記述したように、Disney Theaterという有料のアプリでDisneyの映画をたくさん見ていました。また、実際にインターンが始まった後に、自分のシフトやお給料を確認するためのHUBというサイトがあるのですが、キャストのためのイベントやディスカウントなどの情報が多く載っていたため、こまめにチェックするのいいと思います。インスタグラムのタグを使って他の外国人参加者の投稿を見るのも楽しかったです。</p>
<p>大学・学生の雰囲気（職場や同僚の雰囲気）</p>	<p>CP・ICPと呼ばれる同年代の同僚とシフトが被る事が多かったので、同僚と仲良くなりやすかったです。私は前半・後半共にマジックキングダムへの入り口に入ってすぐのメインストリートで働いていたので、常に多くのゲストが周りにいて賑やか且つ忙しかったです。英語が流暢ではないのにも関わらず、上司・同僚共に優しく接してくれていましたし、分からないことがあればいつでも誰でも助けてくれました。職場の環境は良かったと思います。</p>

滞在先の雰囲気	<p>ディズニーが管理する寮の1つであるビスタウェイというアパートメントに住んでいました。他の3つの寮よりも寮費が安いので、比較的部屋は狭く、とても綺麗とは言えませんが、寮の近くにスーパーや1ドルショップ、レストランやファストフード店などがあつたり、洗濯機も部屋を出てすぐのところに設置されていたので、とても住みやすかったです。部屋は明治の友達とアメリカ人2人、フランス人、プエルトリコ人、合わせて6人で住んでいました。ルームメイトの外国人間でトラブルがあつたりもしましたが、今思い返せば、良い経験にだなと思います</p>
留学先における交友関係	<p>明治大学の友人と遊んだり、職場の同僚と遊んだりしていました。アメリカ人の同僚とユニバーサルスタジオに行ったり、中国・ベトナム人の同僚とパークに遊びに行ったり、韓国人の同僚と昼食を作りあつたり、ペルー人の同僚と近くのレストランに食事に行ったりと、国籍関係なくたくさんの人と仲良くなれたと思います。韓国人の同僚は私より先にプログラムが終わったので、別れの際は号泣したのを覚えていますし、同時にプログラムが終わったペルー人の同僚とは、お互いの国に旅行に行く約束をしました。プログラムを通して、一生大切にしたいと思える友達ができました。</p>
留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと	<p>1st job, 2nd job 共にどのパークよりも遅くまで開いているマジックキングダム、1番最後までお店が開いているメインストリートで働いていたので、仕事が終わる時間が基本的に午前の1時を過ぎていました。特に2nd job のホリデーシーズンではほぼ毎日午前2～3時まで働き、年末は午前4時半まで働いたこともあります。私自身夜型の人間だったので、早起きしないですむという点では良かったのですが、友人とシフトの時間がなかなか合わず、遊びに行きづらかったです。また、どちらのお店もとても混んでいるお店だったので、作中に暇な時間などが一切なかったです。</p>
留学先における学習、課題や試験	<p>インターンシップが始まってから、レポートを頻繁に提出してはいたのですが、毎回テーマが似通っていたので、内容が被らないように、自分の体験や考えを多角的に見るようにしていました。試験などはなかったため、机に向かって何かを勉強するという時間はなかったのですが、同僚やゲストが話す英語を聞き取れるようになりたいという思いから、英語で映画を見るようにしたり、発音が分からなかったらすぐにYouTubeで調べたりしていました。</p>

<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>仕事がオフの日は、パーク内に遊びに行く事が多かったです。キャストのディスカウントを使ってリゾートのレストランに行ったりもしていました。また、近くにユニバーサルスタジオがあり、2回以上行けば元が取れるという事だったので、年間パスポートを買い、最終的に6、7回行きました。オフの申請をしてアメリカ国内を旅行をした友人も多く、私はマイアミとニューヨークに行きました。1日中部屋にいるなんていう日はほとんどなかったです。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>英語が流暢じゃないのに、海外で、しかもディズニーで働くなんて私には絶対に無理だと思っていました。実際、インターンシップが始まってから自分の英語の出来なさを実感することも多かったです。しかし、それで落ち込む事はなく、英語をもっと綺麗に話せたら自分の世界はもっと広がって行くんだろうな、もっと頑張りたいな、とプラス思考で考え、自分自身を刺激する事ができました。色々な人と出会ったことによって、自分のことを見つめ直す機会ができ、日本に帰ったらこんなことを勉強していきたいな、という将来の目標もできました。留学に行かなかったら得られなかった事がたくさんあります。今は不安でいっぱいかもしれませんが、英語力以外にも得られる事はたくさんあると思います。怖がらず、何事にも勇気を出して挑戦してほしいなと思います。</p>